

振興会 だより

令和7年10月23日発行
編集・発行 羽田地区振興会
羽田地区センター

ここで、第39回羽田躍進まつりの内容につき新たな企画となるものを紹介します。

①キッチンカーの出店
②ブルーイン遊

具(滑り台・トランポリン)

③ビンゴ大会(景品付き)

④ベジメーター野菜摂取量測定

⑤餅・菓子まき(1回)

⑥羽田小学校4年児童鑄物太鼓
なお、①、②を含め、ちびっこコーナー、軽トラック市等、会場は地区センターの前の久保公園内となります。

この打合せ会では、振興会の4部会と行政区長協議会の5つに分かれて、役割分担に応じて、10月31日(金)の会場設営と、当日(11月3日(月))の業務について、細かく作業内容を確認しました。

第39回羽田躍進まつり

日時 11月3日(月・祝日) 10:00～
会場 地区センター・久保公園
打合せ会(10月14日)で作業を確認!

り、躍進まつりの開催に向けて、事務局を中心に、いよいよ本格的に準備を進める段階に入っております。

羽田地区振興会は、10月14日(火)18時30分から、地区センター研修室において、第39回羽田躍進まつり打合せ会を開催しました。振興会の役員、行政区長さん方が、足をお運びくださいました。

体育館では③、⑤、開閉会式、伊藤流行山鹿踊りステージ発表(⑥を含む)、



繋縁「よさこい」が、また、④はセンター玄関前で実施します。

老若男女問わず、どなたでも楽しめる内容となっております。どうぞ、11月3日には、足をお運びください。

東海道を歩く会

「南コース」10月11日(土)実施

羽田地区振興会文教福祉部会(部会長 佐藤弘美)

は、10月11日(土)に、東海道を歩く会を「南コース」で実施しました。



午後から降雨が予想され、また、クマの出没が県内各地で頻発するなかでの実施となりました。

降水確率から、黒石鶴城・黒田助千養寺、もしくは外浦山の神社までというコース設定で臨み、結局、山の神社で打ち切り、地区センターにもどってきました。山の神社で昼食を摂っている頃から、雨がポツリポツリ降り始めました。

今回で20回を数える「東海道を歩く会」ですが、気候変動が顕著なものとなる昨今、昼食をはさむ1日の時間設定で臨むウォーキングには、かなり無理があることが現実のものとなってきています。

今後は、バスを使わず、羽田地区内の「東海道」を巡る半日のコース設定が、望ましいと考えられます。

稲作体験活動支援(脱穀)

羽田地区振興会農林保健部会(部会長 菊池富明)は、10月8日(水)羽田小学校学習田において、稲作体験活動支援の一環として、5年生による脱穀の支援活動を実施しました。

児童は、千歯扱き、足踏み式脱穀機、ハーベスターによる3種類の脱穀を、興味深げに体験しました。

収穫量は例年より多いようで、11月には、お米パーティーがあります。

鑄物歴史公園内

立木の枝払い(10月2・3日)

羽田地区振興会は、10月2・3日業者に依頼し、鑄物歴史公園内の立木の枝払いをしていただきました。

これは、公園近隣の方たちから、

落ち葉が半端なものでなく、迷惑千万との声が多く寄せられたことによるものです。

原資は、「鑄物歴史公園会計」です。



11月にデフリンピック出場

夢の舞台へ駆ける

聴覚障害者のための総合スポーツ競技大会「東京2025デフリンピック」(11月15-26日)に、水沢の今野桃果選手(18)が陸上競技の女子200m走と4×100mリレーに出場する。大会本番まで3カ月に迫り、夢の舞台で自己ベスト更新を目指す今野選手は、「最後まで諦めず走り切る」と意気込んでいる。

(佐藤和人)

陸上競技で今野桃果選手(水沢)

デフリンピックは、国際ろう者スポーツ委員会(I C S D)が主催し、4年ごとに行われる。今回は100周年の記念大会で、日本では初開催。選手約3000人のほか、役員や審判、スタッフを含め約6000人が参加する。

陸上記録会に出場したのをきっかけとして、本格的に陸上競技を始めた。3月の盛岡聴覚支援学校高等部卒業後は、胆沢のデサントアパレル水沢工場に勤めなが

ら、デフリンピック出場を目標に掲げ競技経験を積み重ねてきた。選手選考が行われた5月の日本デフ陸上競技選手権大会で、100mが3位、200mが2位と好成績を収め、念願のデフリンピック出場権を勝ち取った今野選手。「うれしさよりもびっくり」と笑顔で振り返る。

今月9日、今野選手は金ケ崎町の森山総合公園陸上競技場で大会に向け汗を流していた。盛岡聴覚支援学校在籍時の恩師で、現在は花巻清風支援学校の指導教諭白藤友一さん(57)が週末を中心に練習をサポートしている。

白藤さんは「フォームが改善され、しっかりと力を地面に伝えられて加速が良くなっている」と評価。迫る本番に向け、「決勝の舞台に進めさせるのが自分の役目。残り3カ月でどれだけ力を付けていけるか。紙幅の関係で、以下省略します。」



今野桃果さん(外浦) デフリンピック出場

200m走 4×100mリレー みんなで応援しましょう!

外浦行政区の今野桃果さん(18)が、11月15-26日に東京で開催されるデフリンピックの陸上競技女子200m走と4×100mリレーの2種目に出場します。

デフリンピックとは、聴覚障害者のためのオリンピックです。4年に1度開催される国際大会です。振興会から、桃果さんに激励金を手交することにいたしました。

なお、今野桃果さんは、令和6年羽田地区新年交賀会において、羽田地区振興会から「さわやか賞」を受賞しております。

これは、令和5年特別全国障害者スポーツ大会陸上競技聴覚障害1部女子200mで優勝したことが評価されていることです。

右の記事は、8月13日(水)の「胆江日日新聞」に掲載されたものです。

センター管理人の異動

浅沼 武美さん 退任
佐々木正孝さん 着任

地区センターの管理人に異動がありましたので、お知らせします。

9月30日をもって、浅沼武美さんが退任されました。5年6カ月にわたり、ご尽力いただきました。

10月1日から、佐々木正孝さんが管理人として着任されました。ご両名とも、羽田地区在住の方です。

なお、10月からの管理人の勤務態様が変更されました。利用時間の15分前からの勤務となります。18時から利用の場合、17時45分に開錠ということとなります。これは、人件費削減に伴う措置となります。ご理解を、よろしく願います。